

「日本内視鏡外科学会技術認定制度」実施のお知らせ

会員各位

日本内視鏡外科学会「技術認定制度委員会」

委員長 木村 泰三

<はじめに>

さて、本年度の技術認定申請の募集を行うこととなりましたので、お知らせ申し上げます。

8 月 15 日より募集開始し、10 月 31 日（消印有効）を以って締切りとさせていただきます。

なお、本制度は本制度規則並びに施行細則にありますように、各関連領域との協力の下に立ち上げた制度ですので、領域により申請方法が異なります。

また、消化器・一般外科領域については募集開始・締切りを上記の通りとし審査致しますが、その他の領域につきましては申請後、理事会開催の際に承認となりますので、随時受付し理事会開催時まで事務局にて申請書をお預かり致します。

つきましては、本制度規則、施行細則、手引きなどをご参照の上、正しい手順でご応募下さいますようお願い申し上げます。

<技術認定申請の手順>

◎ 消化器・一般外科領域…手引きを熟読の上、書式、必要書類、申請ビデオに認定申請料 30,000 円の払込受領書のコピーを添えて提出して下さい。

◎ 産科婦人科領域………日本産科婦人科内視鏡学会が実施している技術認定を取得し、その認定証のコピーに、本学会認定申請書、認定申請料 5,000 円の払込受領書のコピーを添えて提出して下さい。
日本産科婦人科内視鏡学会技術認定制度については以下にお問い合わせ下さい。

〔日本産科婦人科内視鏡学会〕

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-18-6 夏目ビル(株)メディカルサプライジャパン内

TEL 03-3818-2177 / FAX 03-3815-2644

ホームページ <http://square.umin.ac.jp/jsgoe>

◎ 泌尿器科領域………(社)日本泌尿器科学会／日本 Endourology・ESWL 学会が実施している技術認定を取得し、その認定証のコピーに、本学会認定申請書、認定申請料 5,000 円の払込受領書のコピーを添えて提出して下さい。(社)日本泌尿器科学会／日本 Endourology・ESWL 学会泌尿器腹腔鏡技術認定については、以下にお問い合わせ下さい。

〔日本 Endourology・ESWL 学会〕

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-17-15 斉藤ビル 5F

TEL 03-3814-7921 / FAX 03-3814-4117

ホームページ <http://square.umin.ac.jp/jsee/>

◎ 呼吸器科領域………只今、日本呼吸器外科学会との協力により準備中です。準備が整い次第、ホームページ上にてお知らせします。

- ◎ 整形外科領域……………(社)日本整形外科学会が実施している技術認定を取得し、その認定証のコピーに、本学会認定申請書、認定申請料 5,000 円の払込受領書のコピーを添えて提出して下さい。日本整形外科学会技術認定制度については以下にお問い合わせ下さい。

[日本整形外科学会]

社団法人日本整形外科学会

〒113-8418 東京都文京区本郷 2 丁目 40 番 8 号 TH ビル 2・3・4 階

TEL 03-3816-3671 / FAX 03-3818-2337

ホームページ <http://www.joa.or.jp>

- ◎ 小児外科領域……………只今、日本小児外科学会、日本小児内視鏡手術研究会との協力により準備中です。準備が整い次第、ホームページ上にてお知らせします。

- ◎ その他の領域……………現時点での実施予定はございませんが、今後関連領域における内視鏡下手術の発展に伴い、実施が検討された場合には随時ホームページにてお知らせします。

<申請料金振込先>

みずほ銀行 本郷支店 普通 2526974

日本内視鏡外科学会 理事長 北島政樹 ニホンナイシキョウゲカガツカイキタジママサキ

<問い合わせ先・書類提出先>

[日本内視鏡外科学会事務局]

〒162-0802 東京都新宿区改代町 26-1 有限責任中間法人学会支援機構内

TEL 03-5206-6007 / FAX 03-5206-6008

E-MAIL jses@asas.or.jp

ホームページ <http://www.asas.or.jp/jses>

- ※ 本学会技術認定申請には本学会会員であることを要しますが、未加入である場合にはホームページ上よりご入会いただくか、本誌巻末の入会申込書にてお申込み下さい。なお、本学会入会には会費納入が条件となっております。会費請求書は入会申込書提出後に発送され、また入金確認にも時間が掛かりますので、応募締切日まで余裕を持ってご入会下さい。

応募書

日本内視鏡外科学会理事長 北島 政樹 殿

日本内視鏡外科技術認定制度の技術認定（産科婦人科）の取得を希望するので、日本産科婦人科内視鏡学会技術認定証を添え応募致します。

技術認定（産科婦人科）応募書

氏名 _____ 生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 勤務先 _____
 勤務先住所 〒 _____
 勤務先電話番号 (_____) Fax 番号 (_____)
 E メールアドレス _____
 自宅住所 〒 _____
 自宅電話番号 (_____) Fax 番号 (_____)
 E メールアドレス _____
 連絡先 勤務先 自宅 (いずれかに○)

日本内視鏡外科学会会員番号 _____
 日本産科婦人科内視鏡学会技術認定・認定番号 _____
 取得年月日 _____

年 月 日

申請者氏名 _____ 印

※委員会使用

審査料	委員会		
※	受付日時	受付番号	審査結果
	※	※	※

応募書

日本内視鏡外科学会理事長 北島 政樹 殿

日本内視鏡外科技術認定制度の技術認定（泌尿器腹腔鏡）の取得を希望するので、(社)日本泌尿器科学会／日本 **Endourology・ESWL** 学会泌尿器腹腔鏡技術認定証を添え応募致します。

技術認定（泌尿器腹腔鏡）応募書

氏名 _____ 生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 勤務先 _____
 勤務先住所 〒 _____
 勤務先電話番号 (_____) Fax 番号 (_____)
 E メールアドレス _____
 自宅住所 〒 _____
 自宅電話番号 (_____) Fax 番号 (_____)
 E メールアドレス _____
 連絡先 勤務先 自宅 (いずれかに○)

日本内視鏡外科学会会員番号 _____
 日本泌尿器科学会／日本 **Endourology・ESWL** 学会泌尿器腹腔鏡技術認定証
 認定番号 _____
 取得年月日 _____

年 月 日

申請者氏名 _____ ㊞

※委員会使用

審査料	委員会		
※	受付日時	受付番号	審査結果
	※	※	※

日本内視鏡外科学会技術認定（消化器・一般外科領域） 応募の手引き

<応募資格>

- 1) 申請時に日本内視鏡外科学会会員であること（申請締切日までに年会費を完納していること）。
 - 2) 日本外科学会専門医あるいは指導医であること（当分の間は、旧制度での日本外科学会認定医取得後2年以上の外科医、旧制度での日本消化器外科学会認定医取得者、新制度での消化器外科専門医を含む）。
 - 3) 胆嚢摘出術などであれば50例以上、大腸切除、胃切除などであれば20例以上を、術者あるいは指導的助手として経験していること（詳細は下記「症例一覧」の項参照）。
 - 4) 専門領域の内視鏡下の advanced surgery を独力で完遂でき、これらの手術の指導ができること。
 - 5) 本学会並びに関連学会が主催する、あるいはこれら学会が公認または後援する内視鏡外科に関するセミナーを受講していること。
 - 6) 内視鏡外科手術に関する十分な業績を有すること。
- ※ 既に技術認定を取得された方の別の臓器での申請は、本年度については受け付けません。

<申請書類・ビデオについて>

- 1) 技術認定応募書（書式1）
- 2) 履歴書（書式2）
- 3) 日本外科学会専門医あるいは指導医認定証（写）（書式2に添付する）
（あるいは、旧制度での日本外科学会認定医取得後2年以上の外科医、旧制度での日本消化器外科学会認定医取得者、新制度での消化器外科専門医の場合はそれぞれの認定証（写））
- 4) 過去5年間（2002年1月1日以降）の日本内視鏡外科学会（以下本学会）総会、本学会教育セミナーあるいは以下に記載する講習会等の参加証明書類（写）（CMEは証明書のコピー）（書式3に記入の上、証明書類のコピーを添付のこと）

◎申請必要点数は合計12点以上とし、個々の点数は以下の通りとする。

本学会総会	3点
本学会教育セミナー（必須）	4点
本学会主催結紮・縫合手技講習会	4点
後援講習会（動物を用いた実技講習を伴うもの）	3点
後援講習会（動物を用いた実技講習を伴わないもの）	1点
公認研究会	1点
WebSurg(www.websurg.com/homepage/index.php)CME ACCREDITATION	1点(計4点まで加算可)

※CME CREDIT HOURS 1.00 を1点と換算する

☆ 今年度より、本学会教育セミナーへの1回以上の受講は必須である。

なお、今後、本学会主催結紮・縫合手技講習会、後援講習会（動物を用いた実技講習を伴うもの）の受講が必須になる予定である。また、申請必要点数も漸次引き上げられる予定である。

5) 症例一覧 (書式 4)

◎申請時より3年以内に行われた症例について、胆嚢摘出術、虫垂手術、ヘルニア手術など(簡単手術)であれば胆嚢摘出術以外の5例を含む50例(つまり「総胆管結石手術5例+胆嚢摘出術45例」などとし、「胆嚢摘出術50例」は不可)、大腸切除、胃切除、乳腺手術、食道手術、脾臓摘出、副腎摘出、総胆管結石手術など、より難易度の高い手術(advanced surgery)であれば20例について必要事項を記載する。

◎書式4をコピーして使用し、必要とされる症例数について提出すること。

◎手術一覧には簡単手術50例中にadvanced surgeryを含めることはできるが、advanced surgery 20例中に簡単手術を混ぜることは認められない(つまり「胆嚢摘出40例+大腸手術10例」などは可であるが、「脾臓摘出15例+胆嚢摘出5例」は不可)。

◎手術一覧には下記に定める申請ビデオについての臓器別規定に拘わらず、HALS使用例や審査対象外の術式を含めることができ、また、対象臓器についても上記規定に反しない限り混在しても良い。

◎提出されたビデオの状態が悪い場合や術式が不適切と判断された場合には、審査委員会より別ビデオの提出が求められる場合があるので、申請したビデオと対象臓器が同じ術式のビデオを5症例準備し(未編集のもの、患者の承諾を得ておくこと)、該当の術式について症例一覧の番号に○印すること。

◎所属施設内において、症例一覧の番号に対応する患者姓名、年齢、性別、手術年月日リストを作成、管理すること(症例一覧に記載することの承諾を得ることが望ましい)。

6) 申請者の内視鏡手術技術を保証し得る指導的立場にある者2名の推薦状(書式5)

◎必ずしも内視鏡外科医や本学会会員でなくても良く、申請者と同施設である必要はないが、申請者の手術を実際に見学し、その技量を保証し得る者であること。

7) 術者として最近行った内視鏡手術の未編集ビデオ(コピー2本を提出、オリジナルは手元にて保管のこと)

◎症例・手術経過説明書(書式6)を添付すること。

◎ビデオはVHS、S-VHSあるいはDVDにて提出のこと(但し、副ビデオを提出する場合は、審査ビデオと副ビデオのメディアは揃えること)。なお、ビデオの記録速度は通常のものとし、倍速モードで記録されたものは審査不可とする。

◎ビデオが各2本以上になる場合にはビデオのラベルにその順番あるいは主ビデオ・副ビデオの別を明記すること(例:主ビデオ①、副ビデオ①など)

◎ビデオには、申請者・患者が特定される情報は一切記入・貼付しないこと。またビデオ画面に申請者・患者が推察され得る情報を入れないこと。申請者・患者が推察され得る情報があった場合は審査不可となる。

◎手術ビデオを技術審査用として技術審査委員会に提出することを患者に説明し、承諾を得ること(承諾の確認として書式7を提出、但し承諾書については書式7'のフォーマットでなくとも良い)。

◎未編集のビデオとは、体外操作時のカットは認めるが、トロッカー挿入時から手術終了までの全手術を記録したものとする。また、miniDVよりVHS、S-VHSあるいはDVDにダビングした場合は画面が途切れる場合があるためその旨記載すること。

◎術式に縫合・結紮・吻合が含まれない場合は副ビデオ(他手技の縫合結紮部分のビデオとする。ドライラボ、動物実験の縫合結紮でも可、但し未編集のもの)を提出する(提出し

ない場合、該当手技の採点 10 点は 0 点となる）。結紮用特殊器械を用いない体内結紮法か、体外結紮法によるものだけが審査対象となる。また、臨床の方がドライラボにおける縫合結紮より高く評価され、体内結紮の方が体外結紮より高く評価される。なお、副ビデオについてもコピーを 2 本提出すること。

◎提出されるビデオについては、時間制限、体外操作の収録、HALS の是非などが、対象臓器により詳細に規定されているので、必ず下記の臓器別規定を参照すること。なお、HALS を対象外としたのは、HALS の有用性を否定するものではなく、単に技術評価の困難性によるものである。

<胃>

- ・審査対象手技を癌に対する幽門側胃切除術・幽門保存胃切除術（LA PPG）に限定する。
- ・体外操作については、腹腔鏡カメラによるものでも良いので収録すること。
- ・HALS を使用した手技は対象としない
- ・時間制限は特に設けない。

<大腸>

- ・対象症例は、S 状結腸癌あるいは直腸 S 状部の癌とする。
- ・D2 以上のリンパ節郭清を施行した症例とする。
- ・縫合器・吻合器を腹腔鏡下で使用した症例とする。
- ・HALS の使用症例は対象外とする。

<食道>

- ・対象術式は、食道アカラシア（腹腔鏡手術）、胃食道逆流症・食道裂孔ヘルニア（腹腔鏡手術）、食道癌（胸腔鏡操作のみ）に限定する。
- ・手術時間の制限は設けない。
- ・ポートの位置や小開胸がある場合はその映像を収録すること。
- ・食道アカラシアと胃食道逆流症・食道裂孔ヘルニアについて、HALS は審査対象外とする。また、縫合手技は提出ビデオ中で評価するため副ビデオを必要としない（提出されても評価対象とならない）。
- ・食道癌に対する食道切除では、腹部操作・頸部操作は評価対象外なので、胸腔鏡操作の映像のみを提出すること。HALS に関しては肺の圧排の行為のみは認めるが、あくまで視野展開のみであって、手術手技に関与するものは評価対象外とする。小開胸を併用する場合、開胸創は 5 cm 程度までを対象とする。また、縫合手技の審査のため副ビデオの提出が必要とされる。

<胆道>

- ・胆嚢摘出術と総胆管結石手術を対象術式とする。
（簡単な胆摘は 90 点から、困難な胆摘と胆嚢総胆管結石手術は 100 点から減点法で採点される。なお、いずれの手術も 70 点以上が合格点。）
- ・胆嚢摘出術は 3 時間以内、総胆管結石手術は 4 時間以内の手術であること。
- ・両手法（術者が左右の手で鉗子操作する）で行われたものを対象とする。

<脾臓>

- ・対象術式は脾臓摘出術とする。
- ・HALS を使用した例は、対象外とする。

- ・時間制限は設けない.
- ・体外操作の撮影・提出は不要である.

<副腎>

- ・審査ビデオは副腎静脈の剝離・切断操作を評価できるものに限る
- ・HALS を使用した術式は対象としない.

<腎臓>

- ・審査対象を生体腎移植のドナー腎摘症例に限る.
- ・HALS を使用した術式は対象としない.

<乳腺>

- ・審査対象は内視鏡（補助）下乳腺部分切除術，または内視鏡（補助）下乳腺全摘出術で腋窩リンパ節郭清術（センチネルリンパ節生検）を含む術式とする.
- ・内視鏡以外の体外操作は外観を写したビデオの撮影・提出を必要とする.
- ・縫合結紮については手術操作中にない場合にはビデオの提出を求める.

<甲状腺>

- ・術式は制限しない.
- ・手術時間は 180 分を超えないこと.

<ヘルニア>

- ・TAPP または TEP による鼠径ヘルニア手術を対象術式とする.

☆上記以外の術式は受け付けられないので，注意のこと.

8) 内視鏡下手術関連業績目録（書式 8）

◎内視鏡外科手術に関する論文（著書）を 2 編，学会発表を 3 つ必要とする.

◎論文（著書）については，発表者，発表雑誌（著書），発表年（発行年）が確認できるページおよび本文の 1 ページ目のコピー，学会発表については学会抄録のコピー（学会名，演題名，演者名，発表年月の確認できるページ）を添えること．いずれも申請者には赤色の下線を引くこと．

◎論文（著書）は内容が内視鏡外科手術に関するものであれば，掲載誌は問わないが，短報，エッセイや紹介文などは不可とする．

◎学会発表は，全国レベル以上のもの，あるいは本学会が認定する公認研究会のみ認められる．

◎論文（著書）・学会発表ともに発表時期に制限はなく以前に発表されたもので構わないが，発表予定のものについては該当編集事務局あるいは大会運営事務局よりの掲載もしくは採用証明書を必要とする．

◎論文（著書）・学会発表ともに筆頭著者・共同著者，筆頭演者・共同演者の別を問わない．

9) 同意書（書式 9）

◎申請ビデオの教育目的利用やホームページ上での氏名公開に関する同意書に記入し提出する．

10) チェックリスト（書式 10）

◎申請書類・ビデオなどが揃っていることをチェックする．

◎申請書類・ビデオの内容に誤りがないことを確認し，証明のため記名捺印する．

11) 申請料払込受領書控（コピー）

◎申請料は 30,000 円とし，既納の申請料は返却しない．

◎銀行等で振込んだ際の払込受領書のコピー，ネットバンキングの場合は払込終了画面をプリントしたものを，書式 10 にホッチキスで添付すること．

<諸注意>

- 1) 入 会：本学会への入会は会費納入が条件となっており，申請締切日までに納入されない場合は未入会と見做す．その際，提出された申請書類，申請料は返却しない．
- 2) 送 付 先：全ての申請書類・ビデオは以下に送付すること．
〒162-0802 東京都新宿区改代町 26-1 三田村ビル
有限責任中間法人学会支援機構内
日本内視鏡外科学会事務局
TEL 03-5206-6007 / FAX 03-5206-6008
- 2) 申請料振込先：申請料 30,000 円を以下に振込み，払込受領書のコピーを送付すること．
銀行等で振込んだ際の払込受領書のコピー，ネットバンキングの場合は払込終了画面をプリントしたものを，書式 10 にホッチキスで添付すること．
みずほ銀行 本郷支店 普通口座 2526974
日本内視鏡外科学会 理事長 北島政樹
ニホンナイシキョウゲカガツカイ キタジママサキ
- 4) 締 切 日：2007 年 10 月 31 日（消印有効）．
- 5) 送 付 方 法：簡易書留あるいは宅急便とし，それ以外の方法で送付した場合の郵便事故などについては，一切の責任を負わない．ビデオを送付するにあたっては，途中破損のないよう十分注意すること．
なお，受取通知を希望する場合には，返信用官製ハガキ（必ず，宛先住所・氏名を明記のこと）を同封すること（希望のない場合は受取通知しない）．
- 6) 申 請 書 式：学会誌あるいは学会ホームページにて公開される申請用紙の最新のものを使用すること．申請用紙は A4 サイズに揃えて提出のこと．
- 7) 書 類 等 控：一旦受け付けた申請書類・ビデオは絶対に返却しないので，必ず手許にコピーあるいはオリジナルを残しておくこと．
- 8) 審査委員訪問：審査委員が実際の手術見学に行く場合があることを予め了承のこと．
- 9) 問 い 合 せ：事務的な問い合わせは事務局まで連絡のこと．但し，審査については，別途認定基準を参照のこととし，個別の問い合わせは一切受け付けない．

☆なお，詳しい採点基準は 10 月初旬に，本学会ホームページ（<http://www.asas.or.jp/jses/>）に掲載予定であるので，参照されたい．

応募書

書式 1

日本内視鏡外科学会理事長 北島 政樹 殿

日本内視鏡外科技術認定制度の技術認定（消化器・一般外科）の取得を希望するので、以下の書類、ビデオを添え応募致します。

技術認定（消化器・一般外科）応募書

ｶﾅ
 氏名 _____ 生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 勤務先 _____
 勤務先住所 〒 _____
 勤務先電話番号 (_____) Fax 番号 (_____)
 E メールアドレス _____
 自宅住所 〒 _____
 自宅電話番号 (_____) Fax 番号 (_____)
 E メールアドレス _____
 連絡先 勤務先 自宅 (いずれかに○)
 日本内視鏡外科学会会員番号 _____
 日本外科学会専門医・指導医番号 _____ 取得年月日 _____
 _____ 年 月 日

申請者氏名 _____ ㊞

※委員会使用

審査料	委員会		
※	受付日時	受付番号	審査結果
	※	※	※

履歴書

書式2

年 月 日

フリガナ 申請者氏名			
内視鏡外科学会 会員番号	540-	内視鏡外科学会 入会年度	西暦 年度
生年月日	昭和 年 月 日	性別	男・女
現住所	〒 自宅電話番号()		
出身校・卒業年			昭和・平成 年
医師免許証	医籍登録 号		
研修施設 (主に内視鏡 手術関連)	年 月 年 月 年 月		
職歴 (最近のもの、 全て記載する 必要はない)	年 月 年 月 年 月 年 月 年 月		
加入学会	日本外科学会（指導医・専門医） 日本内視鏡外科学会		
賞罰			

セミナー等参加証明書類

書式 3

過去 5 年間（2002 年 1 月 1 日以降）に参加したセミナー等について、その名称などを以下に記載し、それぞれの証明書類のコピーを添付する。

	参加したセミナー等の名称	参加年日時	種類 (下記参照)	点数
1		年 月 日		点
2		年 月 日		点
3		年 月 日		点
4		年 月 日		点
5		年 月 日		点
6		年 月 日		点
7		年 月 日		点
8		年 月 日		点
9		年 月 日		点
10		年 月 日		点
11		年 月 日		点
12		年 月 日		点
	点 数 合 計（12 点以上）	A()+B()+C()+D() +E()+F()+G()=		点

※セミナー等の「種類」欄には下記参照の上、アルファベットを記入のこと。

- | | | |
|---|--|-----|
| A | 本学会総会 | 3 点 |
| B | 本学会教育セミナー（必須） | 4 点 |
| C | 本学会主催結紮・縫合手技講習会 | 4 点 |
| D | 後援講習会（動物を用いた実技講習を伴うもの） | 3 点 |
| E | 後援講習会（動物を用いた実技講習を伴わないもの） | 1 点 |
| F | 公認研究会 | 1 点 |
| G | WebSurg CME ACCREDITATION | 1 点 |
| | （CME CREDIT HOURS 1.00 を 1 点と換算（計 4 点まで加算可）） | |

症例一覧表

書式 4

(/ 枚)

症例一覧表

申請者氏名 _____

	疾患名	手術術式	術者・指導的 助手の別	手術時間 ／出血量	合併症（内容）
1.				分 g	☐ 有 ☐ 無
2.				分 g	☐ 有 ☐ 無
3.				分 g	☐ 有 ☐ 無
4.				分 g	☐ 有 ☐ 無
5.				分 g	☐ 有 ☐ 無
6.				分 g	☐ 有 ☐ 無
7.				分 g	☐ 有 ☐ 無
8.				分 g	☐ 有 ☐ 無
9.				分 g	☐ 有 ☐ 無
10.				分 g	☐ 有 ☐ 無

注：①この用紙をコピーして、胆嚢摘出術などの50例分、advanced surgeryの場合は20例分を提出すること。但し、胆嚢摘出術などの50例にadvanced surgeryの症例が混ざるのは可。記入の詳細は手引きを参照のこと。

②作成枚数を上記に明記し、症例一覧はまとめてホッチキス留めすること。

③最近の症例については、審査委員会がビデオの提出を求める場合がある。

④ビデオの提出可能なものに○印（最低5つ）、提出ビデオの症例に◎印を付けること。

⑤照合できるよう、所属施設内において、症例一覧上の番号に対応する患者姓名、年齢、性別、手術年月日のリストを作成し、管理すること。

推薦書

書式 5

日本内視鏡外科学会

理事長 北島 政樹 殿

私は、この度日本内視鏡外科学会技術認定を申請した_____氏の
の内視鏡下手術手技を実際に見て、私自身の医師としての知見と経験に基づき、
同氏が主要な内視鏡下手術を独立した術者として遂行できる医学的知識および
技量を持っていることを、良心に従って証明致します。

年 月 日

氏名 _____ 印 _____

所属 _____

年 月 日

氏名 _____ 印 _____

所属 _____

ビデオ審査添付書

書式 6

申請者番号 _____ (事務局使用)

对象臓器 _____

術式 _____

症例 年 齡 歳 身 長 cm 体 重 kg

診断_____ 病期_____

既往歴

手術時間_____時間_____分 推定出血量_____g

術中合併症_____

術後合併症

術後在院日数 _____ 日

ビデオの形式 VHS S-VHS DVD

副ビデオ 有（下記に内容を記載） 無

内容

※ビデオの記録速度は通常のものとし、倍モードで記録されたものは不可。

手術手技のポイント

The following are some of the most common types of fraud:

- Identity Theft
- Credit Card Fraud
- Bank Account Fraud
- Insurance Fraud
- Mortgage Fraud
- Tax Evasion

承諾書確認

書式 7

ビデオ提出に関する患者様承諾について

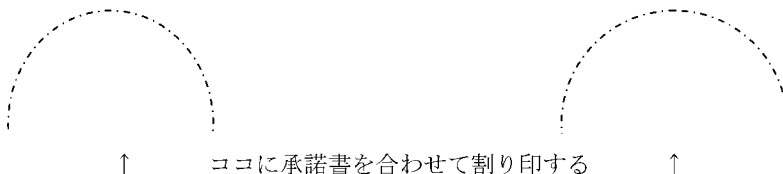
この度、_____氏が、日本内視鏡外科学会技術認定制度（消化器・一般外科領域）に申請するにあたり、患者様に対し十分な説明を行い、手術ビデオの提出を承諾いただいたことを証明いたします。

施設名：_____

肩 書：_____

氏 名：_____ (印)

- ※ 患者様に本制度の主旨を説明し、書式 7 の承諾書あるいはこれに類する承諾書（確かに納得されたことを証明し、患者本人あるいは事情のある場合には代理人の署名・捺印があるもの）に署名・捺印を得ること。
- ※ 承諾書は個人情報保護の観点から、本学会事務局に患者様氏名が知られることを避けるため、所属長、事務長などが確認の上この用紙に署名・捺印し、この用紙のみを提出する。
- ※ 患者様承諾書があることの確認のために、患者様（あるいは代理人）が署名・捺印した承諾書と本用紙を重ね、確認者（上記署名人）が割り印する（割り印なき場合は無効とする）。
- ※ 確認者は所属長あるいは事務局長など、書類確認等に責任の持てる者とする。
- ※ 患者様承諾書は必ず厳重に保管すること（もし必要があった際には提出できるようにしておくこと）。



承諾書

書式7'

日本内視鏡外科学会技術認定申請への協力依頼について

患者様氏名 _____ 様

あなた様の手術のビデオを、日本内視鏡外科学会技術認定申請のため日本内視鏡外科学会技術審査委員会（消化器・一般外科領域）に提出することについてご承諾いただきたくお願い申し上げます。なお、この認定申請に協力するかどうかは、あなた様の治療とは何ら関係がなく、ご協力いただけない場合でも不利益を受けることはありません。

記

1、技術認定制度の目的と方法について

この認定制度は、高度な技術が要求される内視鏡外科手術に携わる医師の技量を評価し、所定の基準を満たした者を認定するものです。その際、医師の技量を評価する対象として申請者の手術ビデオが、技術審査委員会にて審査されます。

2、技術審査委員会委員について

手術ビデオを判定する技術審査委員は、技術認定を取得した指導的な内視鏡外科医です。いずれも、内視鏡外科手術に精通し、実際に臨床に携わっている医師です。

3、プライバシー保護について

技術審査委員会並びに、審査事務を担当する日本内視鏡外科学会事務局には、患者様の名前や住所は一切公表しません。

以上

日本内視鏡外科学会技術認定申請に関する承諾書

年 月 日

担当医師 殿

担当医師より、私の手術ビデオを技術認定審査の対象として、日本内視鏡外科学会技術審査委員会に提出することについて説明を受けました。つきましては、上記認定申請のため、技術審査委員会に私の手術ビデオを提出することを承諾致します。

<患者>

住所：

氏名： 印

事情により本人が承諾の意志を表明できないため、本人に代わり承諾致します。

<代理>

住所：

氏名： 印

業績一覧

書式 8

氏名 _____

申請者番号 _____（事務局使用）

論文

著者名（3名までを記入）	種別	表題	雑誌名/著書名	巻号頁	年度	Pp1
1	筆 共					☐
2	筆 共					☐

学会発表

演者名 （3名までを記入）	種別	演題名	学会名	年月日	場所	Abs
1	筆 共					☐
2	筆 共					☐
3	筆 共					☐

- ※ 共著者あるいは共同演者としての業績も認められる。
- ※ 学会発表は全国レベルあるいは公認研究会での発表、論文(著書)は掲載誌は問わないが短報、エッセイ、紹介文などは不可。
- ※ 論文の1ページ目、学会発表の抄録のコピーを添付したことの確認のため Pp1、Abs の欄にチェックすること。

同意書

書式 9

ビデオ利用および氏名公開に関する意向について

本学会教育委員会主催の教育セミナーにおいて貴殿の提出ビデオを教材として利用し、また審査の結果、合格し本制度取得者となった際に本学会ホームページにおいて、氏名・所属施設名を公開することにつき、同意の有無をお伺いいたします。なお、同意の有無は審査結果には一切影響致しません。

なお、事務手続き上、本年度試験における同意の有無は本用紙を以って表明することとし、その後にこれを翻すことのないようご留意下さい。

同意書

- 1) 本学会教育委員会主催の教育セミナーにおいて、本制度審査委員が講師として講習を行う際に、提出された申請ビデオを教材として使用することに、審査結果の如何に関わらず

同意する

同意しない

※同意する場合には、本制度委員会からの通告なくセミナー教材として利用することを了承します。ただし、利用は本学会教育セミナーの場のみとし、それ以外では使用しないこととする。

- 2) 審査の結果、合格し本制度取得者となった際に本学会ホームページにおいて、氏名・所属施設名を公開することに

同意する

同意しない

以上の通り、私の意向を表明いたします。

表明した意向の通りに適切に処理されることを望み、その限りにおいて異議・拒否の申し立ては致しません。

平成 年 月 日

施 設 名 _____

申請者氏名 _____ 印

応募書類確認書

書式 10

- ☐ 技術認定応募書（書式 1）
- ☐ 履歴書（書式 2）
- ☐ 日本外科学会専門医あるいは指導医認定証（写）
- ☐ 本学会ならびに関連領域の学会、研究会が主催あるいは公認、後援する内視鏡外科に関する教育セミナー参加証明書類（書式 3 および書類のコピー）
- ☐ 最近 3 年以内に行われた胆嚢摘出術などであれば 50 例、大腸切除、胃切除など、より難易度の高い手術であれば 20 例の症例一覧（書式 4）
- ☐ 申請者の内視鏡手術技術を保証し得る指導的立場にある者 2 名の推薦状（書式 5）
- ☐ 術者として最近行った内視鏡手術の未編集ビデオ（コピー 2 部ずつ）
- ☐ 提出ビデオの術式に縫合・結紮が含まれない場合の副ビデオ（コピー 2 部）
- ☐ 症例・手術経過説明のビデオ審査添付書（書式 6）
- ☐ 手術ビデオを技術審査用に提出することに関する患者の同意書があることの確認書類（書式 7）
- ☐ 内視鏡下手術関連業績目録（書式 8）
（論文は 1 頁目のコピー、学会発表は抄録のコピーを添付する）
- ☐ アンケート（書式 9）
- ☐ 申請料金 30,000 円の払込受領書のコピー（書式 10 にホッチキスで添付）

日本内視鏡外科技術認定制度の技術認定（消化器・一般外科）取得致したく、以上の書類、ビデオを漏れなく提出致します。

また、これら書類、ビデオの記述、内容には一切偽りはありません。

平成 年 月 日

施設名 _____

申請者氏名 _____ 印